

平成28年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 薬務課
 担当名: 販売指導担当
 内線: 3622

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B47	後発医薬品使用促進対策費		一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	薬事監視指導費	
事業期間	平成28年度～平成32年度	根拠法令	後発医薬品安心使用促進事業実施要綱		戦略項目	010305 医薬品などの安全対策と献血の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>県民及び医療関係者が安心してジェネリック医薬品を使用することができる環境整備について協議会の開催により、後発医薬品安心使用促進対策の検討を行う。 県民及び医療関係者への正しい知識の普及啓発を実施する。</p> <p>(1) 後発医薬品使用促進対策費 △1,472千円</p> <p>国庫委託金交付額が当初の見込を下回ったため、事業実施対象地区数の削減等の見直したことに伴う減</p>			<p>(1) 事業内容 後発医薬品使用促進対策費 4,886千円 ア 協議会の開催 県民及び医療関係者が安心して後発医薬品を使用することができる環境整備について協議会の開催により、後発医薬品安心使用促進対策の検討 イ 後発医薬品使用促進に向けた啓発活動 県民及び医療関係者に対し後発医薬品に関する正しい知識の普及啓発</p> <p>(2) 事業計画 ア 協議会の開催(年2回) 地区協議会の開催(2保健所、各4回) イ 郡市医師会の会合で勉強会の開催(30地区) 県医師会、県薬剤師会等を対象に研修会(4回) 県医師会等を対象に後発医薬品メーカー工場視察(4回) 県民に対する普及啓発(通年)</p> <p>(3) 事業効果 後発医薬品普及状況 数量ベース(新指標): 平成25年度49.9%、平成26年度59.8%</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 日本ジェネリック製薬協会会員企業による勉強会、研修会及び工場視察の実施 イ 全国健康保険協会埼玉支部と連携した啓発活動の実施</p> <p>(5) 補正予算の概要 (1) 協議会の開催: 地区協議会の開催を2地区から1地区(1保健所)へ見直したことによる講師謝金等の減額 (2) 研修会等の開催: 研修会の開催回数を4回から2回に見直したことによる会場使用料等の減額</p>					
2 事業主体及び負担区分 (国10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=19,000千円								
予算額		財源内訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,472	国庫支出金	△1,472				0	3,414
現計額	4,886		4,886				0	